

# 達成状況評価書(平成25年度)

部局名:接合科学研究所

項目	コメント
<p>1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)</p> <p>教育に関する年度計画の達成状況</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成25年度は、文部科学省特別経費による「広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業」プロジェクトを推進し、インドネシア大学、ハノイ工科大学、カセサート大学の3か国3機関でカップリング・インターンシップを実施し、実践型グローバル人材を育成するほか、国際溶接技術者(IWE)コースにおいて、修了生11名のうち8名が国際溶接学会 (IIW) 資格日本認証機構による最終試験に合格し、世界で通用するIWE資格を取得するなど、成果が上がっている。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)</p> <p>研究に関する年度計画の達成状況</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成25年度は、摩擦攪拌接合に関する研究論文が溶接・接合界の最高峰誌である、Science and Technology of Welding and JoiningからBest Paper Award (論文賞) を受賞し、新聞紙にも多数の関連記事が掲載されている。また、学術交流協定締結先を中心に5機関から研究者36名を招き国際共同研究等を実施するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>3. その他 (大学の年度計画: 11~17)</p> <p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成25年度は、共同利用・共同研究拠点等の機能を通じて、本学のバンコク教育研究センターを活用しながら「東アジア接合研究連携拠点ネットワーク形成事業」を推進した結果、香港城市大学、ハノイ工科大学、カセサート大学、タイ国立科学技術開発庁、ベトナム国家大学ハノイ校、デラサル大学、オークランド工科大学との学術交流協定を締結するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18~30)</p> <p>業務運営全体に関する年度計画の達成状況</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成25年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成25年度は、所長のリーダーシップの下、競争的資金の間接経費や所長のリーダーシップ経費等を利用して、業績評価を踏まえて16名の若手研究者に研究費の重点配分を行うなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>5. 全体の項目に関する達成状況</p>	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成25年度は、溶接・接合界の最高峰誌からのBest Paper Award (論文賞) の受賞、国際共同研究等の実施、業績評価を踏まえた若手研究者への研究費の重点配分など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>